

今、皆さんにとって、24時間365日、水道を使用することは当たり前のことかもしれません。しかしながら、いったん大地震に見舞われると、断水により大変なご不便をおかけすることになります。

そのような状況を最小限に抑えるため、市では震災を教訓に、災害時の備えとしてさまざまな取り組みを進めています。問合せ 上下水道総務課 (☎337-3135)

◆水道管の耐震化

地震による被害を最小限にするため、広範囲に影響を及ぼす幹線となる大口径の水道管から、計画的に耐震性に優れたものに取り替えています。



耐震管への更新工事のようす

◆応急給水拠点の強化

災害や緊急時などに、水道水を相互に融通し給水の安定化を図るために、大阪広域水道企業団・大阪市・堺市・羽曳野市と「緊急連絡管」を設置しています。また、大規模地震が発生し、水道施設に被害が生じた場合に迅速かつ適切な応急対策を実施するため、他の水道事業者と「震災対策相互応援協定」を結んでいます。

◆応急給水個所の整備

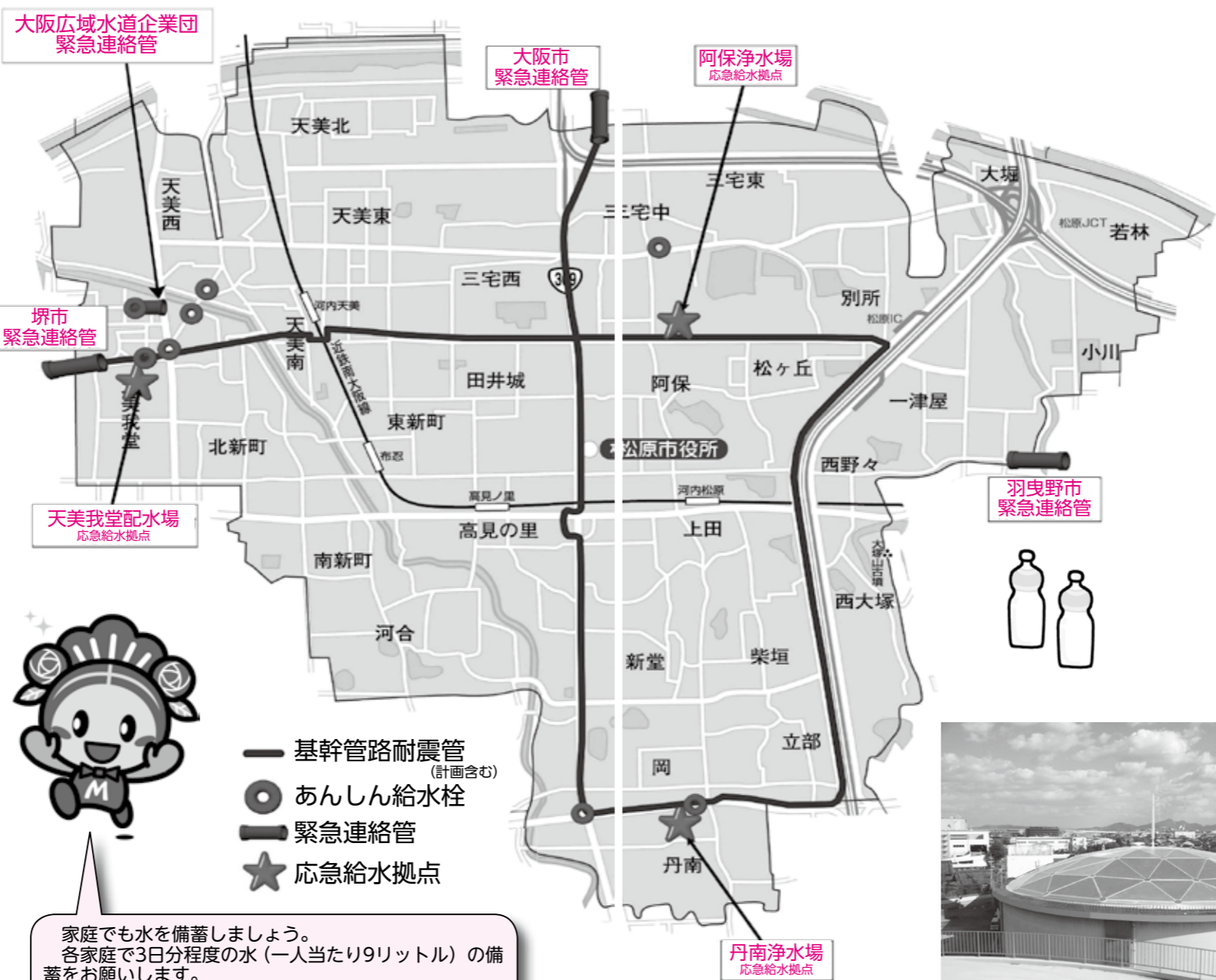
市では、丹南・阿保・天美我堂の各浄配水場を災害時応急給水拠点としています。

また、災害時の応急給水の初期活動としては、水道水を給水車などで



応急給水栓

【市内の給水拠点 と緊急連絡管】



市では、国道309号線や大阪中環状線、堺港大堀線に水道の基幹

管路があり、これらの更新、耐震化とあわせ、現在、道路整備中の区間にも新たに耐震性のある水道管を計画的に敷設しています。

◆浄配水場の機能強化

丹南浄水場では、市内へ水を送り出すための配管・ポンプ設備の機能強化を図り、安全性を高めています。また、市内へ送り出す水道水を貯めておく貯水タンクは傷みのひどい



アルミドーム屋根を使用した災害に強い貯水タンク (完成予想図)

◆緊急資材の配備

災害や緊急時に備えて、各浄配水場に給水タンク・非常用給水袋・災害用備蓄水などの緊急用資材を配備



給水タンク (1000L)



災害用備蓄水490mLと非常用給水袋6L



- 基幹管路耐震管 (計画含む)
- あんしん給水栓
- 緊急連絡管
- ★ 応急給水拠点

家庭でも水を備蓄しましょう。各家庭で3日分程度の水(一人当たり9リットル)の備蓄をお願いします。また、お風呂の残り湯は捨てないでと、トイレや洗濯用水に役立ちます。

し、緊急時にはこれらの資材を活用し、迅速に水道水を提供できるようにしています。

届ける運搬給水が中心となり、医療機関や避難所などで給水活動を行います。今年度には、市役所前に直接給水車へ給水できる応急給水塔を設置し、さらに、避難所となる公園、学校に応急給水栓の設置を順次進めていきます。あわせて、大阪広域水道企業団の送水管から直接給水できる「あんしん給水栓」が市内8カ所に設置されており、市内全域への給水活動を円滑に行えるようにしています。